

両川 中学校区 (両川 小, 両川 中)

【目指す子どもの姿】

両川を誇り、 挑戦しつづける たくましい子

〈 「目指す子どもの姿」の設定の仕方 〉

平成 28 年度、両川小学校・中学校は、第 1 次の小中一貫教育推進パイロット校に指定された。

春、小中合同でパイロット事業の概略について説明会を開催した。続いて、夏に 2 回の研修会を行い、目指す子どもの姿を設定した。具体的には、以下のとおりである。

- i 8 月上旬、第 1 回目の合同研修会を開催した。学力向上、生徒指導、体力健康増進、特別支援の 4 グループで、ファシリテーションにより現況と目指す子どもの姿について文言の候補を抽出した。
- ii お盆の前後 2 回程度、双方の教頭同士が会合をもち、4 グループの意見を総合し、目指す子どもの姿の素案（原案よりさらに前の段階のたたき台）を示した。
- iii 両教頭が作成した素案を双方の校長が審議し、原案とした。
- iv 8 月下旬、第 2 回目の合同研修会にて目指す子どもの姿の原案「両川を誇り、挑戦しつづける たくましい子」を提案し、小中教員全員で了承した。

※ 翌年から「教育ビジョン」や「教育方針」の中でも、目指す子どもの姿を記述することとした。また、学校だよりや地域の方々との会合などでも、校長は「両川を誇り、挑戦しつづける たくましい子」と紹介するようにしている。

【目指す子どもの姿】の設定に向けた心構えや方策

小中学校職員の気持ちを一つにしたり、「目指す子どもの姿」実現への意欲向上を図ったりするための心構えや方策を作成するに当たって、「大事だと感じたこと」は以下の 3 点である。

i 必要感

一つ目は「必要感」。すべての教職員が「小中一貫教育は必要である」という共通認識のもと、この一貫事業に取り組んでいくことである。

校内における活動に加え、小中合同の活動や会議が多くなる。それが分かっても「やらなきゃならないよな。子どもたちのためだもの。」と教職員が認め、ちょっとした業務をする、そのような雰囲気を醸成する必要がある。

中学生になると、学校不適應を起こすいわゆる「中 1 ギャップ」一つをみても、小中の教員が 9 学年の児童生徒の名前や顔を知っているだけでも、学校不適應に対して大いに防御になると考えられる。

ii 幼保小中の連携

二つ目は「幼保小中の連携」。多くの小学校では「幼保小の連携事業」に取り組んでいる。これに中学校を加え「12 年間の育ちを互いの校種間で支えていく視点を持ちましょう。」ということである。

「新たな行事を企画しましょう。」とまでは必要ないが、中学校の教員が保育園・幼稚園の先生方とふれあうことで、「この子たちが 7 年後、中学校に上がってくるんだなあ」という気持ちをもつだけでも、この一貫事業の支えになるはず。

iii キャリア教育の視点

三つ目は「キャリア教育の視点」。小学校6年生段階で、いくつかの進路選択が可能な時代となった。ただ、出口指導（卒業したその直後の進学指導・進学事務）だけでなく、10年後・20年後の自己の姿を見据える中・長期的な視点で、子どもたちを支援・指導していくことが必要である。

そういう意味からも、中学校はもちろん小学校の先生方にもキャリア教育の視点をもっていただき、各学年・発達段階に応じ、支援していく必要がある。

学習指導要領に記載された各学年の特別活動の中で、「キャリア教育の視点」をしっかりと位置付けていく。

キャリア教育では、

ア 出会いに生き方を学ぶ力

イ 夢見る力

ウ 自分を見つめ選択する力

エ コミュニケーション能力

オ 達成する力

カ 七転び八起きの力

キ 社会貢献を喜べる力

の7つの力を育てたい。（諸富祥彦「7つの力を育てるキャリア教育」図書文化社より）

これらの力は、小学生でも取り扱える内容でもある。

① 「9年間を見通した生活科・総合的な学習の時間」における小中一貫した教育としての取組

別紙参照：「両川中学校区における生活科・総合的な学習の時間を主とする計画」

〈「身に付けさせたい資質能力」とその実現に関わる方法について〉

【身に付けさせたい資質能力】

- i ふるさと両川の人・もの・ことの魅力を捉えるとともに、課題解決に必要な知識・技能、他の課題にも粘り強く対応できる能力（知識及び技能）
- ii ふるさと両川の人・もの・ことと関わりながら自分の課題を立て、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現する力（思考力・判断力・表現力）
- iii 自分の課題をよりよく解決するために主体的、協働的に取り組み、新しい両川地区を創造していくとする態度（学びに向かう力、人間性）

【その実現に関わる方法】

- ・ 小中で一貫した生活科・総合的な学習の時間の指導計画を作成し、9か年で目指す子どもの姿を実現するのにふさわしい探究課題を設定する。
- ・ 探究課題設定にあたっては、育成する資質・能力を明確にするとともに、小中の連続性と他教科との関連性を重視する。
- ・ 地域教育コーディネーターの協力のもと、地域の人と目標を共有しながら、人・もの・ことと関わる場を設定する。

② 「9年間を見通した学習の仕方」の取組

～両川小中学校で守る学習ルール～（紙幅の都合上，中学校版を掲載）

- i 学習の準備をしてから休み時間にする。
- ii 時間になったら席につく（チャイム前着席）。
- iii 呼ばれたら、「はい！」としっかり返事する。
- iv 授業中，席を立つなら先生に申し出る。

◎「聴く」話し手の意図を捉え，自分の考えと比べながら聴く

- ・ 大事な言葉をメモしたり，質問したりしながら聴く。
- ・ 自分の考えとの「共通点」や「相違点」を整理する。
- ・ 相手の話を聴いて，自分の見方や考え方を深める。

◎「話す」根拠を明確にし，相手や場面に応じて分かりやすく話す

- ・ 結論を先に立場をはっきりさせて話す。
- ・ 図・表，具体物・資料などを示しながら話す。
- ・ 相手や場面に応じて，表現の仕方を工夫して話す。

〈「9年間を見通した学習の仕方」の設定・運用の仕方〉

平成 29 年度になり，学習の仕方（学習スキル）をそろえようと，学力向上部会が中心となり，1 年間かけて上記の学習の仕方を作成した。元々それぞれの学校で学習の仕方があったものをベースに小中で文言をそろえた。

発達段階に合わせ，小学校低学年・中学年・高学年，中学校と 4 段階になっている。現在，教室の前面に掲示されており，授業開きで指導し，また時折授業の中で用いている。

③ 「小中一貫合同研修会」の取組

○ねらい

一貫した学びによる確かな学力の推進，なめらかな接続による児童生徒の健全な育成，小中それぞれの長所を学ぶことによる職員の資質向上を図るために，合同研修会を設定する。

○ 研修内容

- i 4 月中に顔合わせを目的とし，全体会，4 部会での年度の計画を確認する。
- ii 6 月，小学校教諭による授業研究会を合同で参観し，協議会をする。
- iii 8 月，人権教育・同和教育研修会，4 部会の前期中間評価をする。
- iv 11 月，中学校教諭による授業研究会を合同で参観し，協議会をする。
- v 2 月，年度末評価と次年度計画。

〈「小中一貫合同研修会」の実施方法の工夫〉

年に 5 回の合同研修会は，3 年目を迎えようやく軌道に乗った。何よりも，日程調整が鍵である。例年，この時期はこれをする，としているので，教員はスケジュール慣れしている。

平成 28 年度は，9 教科の年間指導計画，平成 29 年度は，総合的な学習の時間の年間指導計画を作成した。平成 30～31 年度は，道徳の年間指導計画を作成する。

④ 「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の取組

○ ねらい・協議内容

小学校中学校合同で「学校評議員会」を開催している。これが、「＝中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」となっている。学校の現状説明と意見交換をする。

○ メンバー

コミュニティ協議会，自治連絡会，育成協議会，民生委員協議会，小中PTA会長，小中学校評議員，（5人），小中学校の校長・教頭・教務主任（中）・生活指導主任（小）・生徒指導主事（中）の18人。

○ 次第・協議内容

- ・ 学校の教育ビジョンの説明
- ・ 学校の近況
- ・ 生徒指導の諸問題の説明

など，内容は多岐にわたる。各説明の区切りごとに，参会者から意見をいただいている。

〈 「中学校区ごとの小中一貫教育推進委員会」の実施方法の工夫 〉

「小中合同学校評議員会」をベースにしている。このベースに「いじめ防止連絡協議会」，「地域と学校パートナーシップ事業推進会議」も組み合わせ，同日開催している。

平成29年度までは小中別々に学校評議員を委嘱していたが，平成30年度より兼務の学校評議員とした。

【目指す子どもの姿】

両川を誇り，挑戦しつづける たくましい子



【「目指す子どもの姿」を実現するために，生活科・総合的な学習の時間で行う教育活動】

【9年間を見通した学習の仕方】

【身に付けさせたい資質・能力】

- i ふるさと両川の人・もの・ことの魅力を捉えとともに，課題解決に必要な知識・技能，他の課題にも粘り強く対応する能力
(知識及び技能)
- ii ふるさと両川の人・もの・ことと関わりながら自分の課題を立て，情報を集め，整理・分析し，まとめ・表現する力
(思考力・判断力・表現力)
- iii 自分の課題をよりよく解決するために主体的，協働的に取り組み，新しい両川地区を創造していこうとする態度
(学びに向かう力，人間性)

～両川小中学校で守る学習ルール～（中学校の例を掲載）

- i 学習の準備をしてから休み時間にする。
 - ii 時間になったら席につく（チャイム前着席）。
 - iii 呼ばれたら「はい！」としっかり返事する。
 - iv 授業中，立つなら先生に申し出る。
- ◎話し手の意図を捉え，自分の考えと比べながら聴く。
 ・大事な言葉をメモしたり，質問したりしながら聴く。
 ・自分の考えとの「共通点」や「相違点」を整理する。
 ・相手の話を聴いて，自分の見方や考え方を深める。
 ◎根拠を明確にし，相手や場面に応じて分かりやすく話す。
 ・結論を先に立場をはっきりさせて話す。
 ・図・表・具体物・資料などを示しながら話す。
 ・相手や場面に応じて，表現の仕方を工夫して話す。

【独自プログラム】

- i 学力向上部会
・家庭学習強調週間カードの統一，漢検・英検・数検合同受検，NRTの交換
- ii 生徒指導部会
・あいさつ運動，球根植え，通学路クリーン作戦の合同実施
- iii 健康保健部会
・学校保健委員会，元気チェック・生活リズムカードの統一，アレルギー研修会の合同実施
- iv 特別支援教育部会
・研修会，共通UDチェックリストの活用，個別的教育支援計画・個別の指導計画の書式統一

両川中学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせるための手立て
3	・地域学習（郷土の未来） ・探究・創作・表現活動「ふたかわ祭」	・資料，聞き取り，現地見学等による調査 ・学習成果のまとめと発表および提言 ・郷土のよさを他地域に発信していくCMづくり ・創作ミュージカルの題材発掘と台本作成 ・創作ミュージカル準備，練習，発表 ・企画，運営，広報活動，振り返り活動 【平成29年度】 ・講話（地域の歴史・文化/現状/課題） ・郷土のよりよい未来を考えた一人一提言	・地域の魅力を理解し，地域のよさを他地域の人に伝える方法を考える ・地域学習の成果を，創作ミュージカルとして発表する
2	・生き方学習 ・探究・創作・表現活動「ふたかわ祭」 ・地域学習（修学旅行）	・情報取得とスキル習熟，情報モラル学習 ・体験学習の実施と評価 ・学習成果のまとめ方，発表方法の学習 ・創作ミュージカルの題材発掘と台本作成 ・創作ミュージカル準備，練習，発表 ・企画，運営，広報活動，振り返り活動 ・歴史・文化・伝統等の相違の理解	・職業についての理解を深め，体験学習を通して自己の生き方や進路について考える ・3年生の地域学習の成果を，創作ミュージカルとして発表する ・地域学習（修学旅行） 関西および日本の歴史・文化・伝統等を学び，理解を深める
1	・探究・創作・表現活動「ふたかわ祭」 ・地域学習（郷土）	・創作ミュージカル準備，練習，発表 ・企画，運営，広報活動，振り返り活動 ・調べ学習，講話，現地見学 ・地域の方へインタビュー ・まとめと発表	・3年生の地域学習の成果を，創作ミュージカルとして発表する ・地域の歴史・文化・伝統等について学び，地域についての理解を深める

両川小学校

学年	題材・単元名	主な学習内容	目指す子どもの姿にせるための手立て
6	私たちの町 両川 ～ 人とつながる 地域とつながる ～	・私たちの町 両川の歴史をひも解こう 調べ学習、講話、現地見学、地域の方へインタビュー ・歴史の町『佐渡』へ いざ出陣！ 自主研修ごとに活動計画を立て、まとめる ・地域とつながる 保育園・ボブラの家との交流	・川とともに生きてきた地域の人々の歴史と現状を知る 地域と自分とのつながりを考える ・佐渡の概要を知り、「自然」「歴史」「伝統工芸・人々の暮らし」について、テーマ別に調べる ・活動の見通しをもち、保育園やボブラの家で、活動の補助をしたり、交流したりする
5	・米から始まるスマイル村 計画 ～食と農～	・米作りにチャレンジ ・自給自足体験をしよう ・「食と農」についてまとめよう	・JAの方と田植え体験をする 日本と外国の米の作り方や種類の違い、野菜栽培、地域の食生活 ・自分たちで栽培した米と野菜で1食分の食事を作る 大豆で、味噌や豆腐を作る、先人の知恵をまとめる ・学習や体験して考えたことをまとめる これからの自分の生活で見直すことやできることを考える これからの農業や食について考えたことを発信する
4	・知ろう！守ろう！伝えよう！～ 両川の自然 ～	・両川の梨作りについて知ろう ・梨作りを体験しよう ・梨の名産地「両川」の自然を守ろう	・自分たちの住む両川地区が梨の産地であることを知る 梨の栽培方法や歴史を調べる ・地域の方に梨の育て方を教えてもらう、環境について学ぶ ・梨の花粉付け、袋かけ、収穫を体験する ・小阿賀野川の昔の様子を地域の方から聞く ・両川の自然を守るために、自分たちのできごとを考える
3	・ふるさと両川 大好き両川 ～ 地域の人と関わろう ～	・両川地区ってどんなところ？ ・割野と酒屋の地域のよさをもっとアピールする方法を考えよう 「元気アップ大作戦」	・調べたいテーマを決め、調べ方を考える 酒屋地区と割野地区へ出かけ、暮らしや祭りなどを調べる ・地域の人から現状や願いを聞く。割野の梨、酒屋商店街をアピールする方法を考える ・両川地区のよさをまめ、酒屋商店街を元気にする方法を実践する ・地域のよさを宣伝する「元気だ両川！」パンフレットを作る
2	・町のすてき大はっ見 ・わたしたちの野さいばたけ ・生きものと友だち ・作ってあそぼう ・みんな大すき わたしだいすき	・わたしの町 町たんけん 町のしょうかい ・なえうえ やさいのせわ しゅうかく ・ザリガニのせわ ダンゴムシのせわ ・おもちゃ作り ・小さいころのこと できるようになったこと	・町探検を通して、商店街や人々の暮らしを調べる ・調べまとめた町のよさを紹介する ・野菜の苗植えから収穫までを通して、植物の成長の様子を知る ・生き物の世話を通して、動物の成長の様子を知る ・準備や作製、遊びを通して、簡単なおもちゃの作り方を知る ・できるようになったことを振り返り、3年生への準備をする
1	・がっこうたんけん ・わたしのあさがお ・あそびにいこうよ ・いきものだいすき ・ありがとうがいっぱい	・1ねんせいになったよ ともだちいっぱい がっこうたんけん ・たねまき まいにちのせわ きれいなはな あたらしいたね ・はる ～ ふゆのあそび むかしのあそび ・いきものさがし ・いえのしごと できるようになったこと	・入学直後の1年生が学校に慣れるよう、活動を仕組む ・種蒔きから新しい種の収穫までを体験して、植物の成長を知る ・季節ごとや昔の遊びを体験する ・身の回りの生き物を探し、その様子を知る ・できるようになったことを振り返り、2年生への準備をする